

# リアル&デジタル 「学びが面白い！」の深化 ～自ら、ともに 『鍛える』『支える』～



福山市教育委員会  
教育長 三好 雅章 氏

## 教育随想



令和5年9月1日

# 9月号

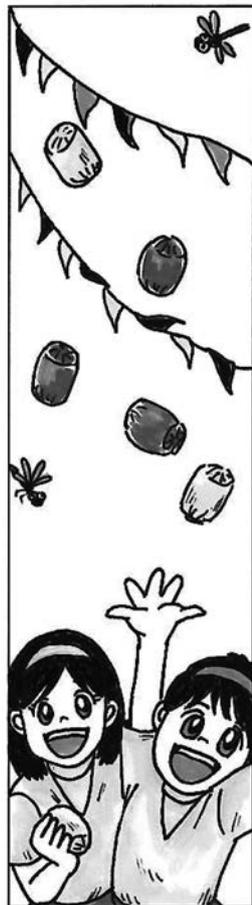
発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想……………	1
福山市教育委員会 教育長 三好 雅章 氏	
この人に聞く……………	2
岡崎市保健所保健衛生課 主査 国際緊急援助隊 医療チーム登録 佐藤 千歳 氏	
羅 針 盤……………	2
道徳指導員 白川 真理	
ふれあい……………	3
竜海中学校 教諭 加藤 秀太	
特 集……………	4
ありがとう 額田中学校敬信寮	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
労作教育(昭和8年)	
この本を……………	8

福山市では、市制施行一〇〇周年を迎えた二〇一六年(平成二十八年)一月、次の一〇〇年へ、更にその先の未来へ向かって、福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てることをめざし、「福山一〇〇NEN教育」を宣言しました。今年で八年目を迎えます。

この間、子ども一人一人の能力や学ぶ過程が異なることを前提に、一斉・画一を求めてきた従来の学校の価値観・体制を問い直しながら、すべての子どもたちが、「学びが面白い！」と実感する「子ども主体の学び」づくりに取り組んできています。教職員研修を、教材研究を中心に据えて実施し、教職員は、子どもの学ぶ姿や教科・教材の本質に向けて協議を重ね、自身の授業に活かしていきます。また、校内外フリースクール



の設置、学校図書館環境整備、再編による新たな学校の開校など、子ども一人一人が自分に合った学びを選択・決定できる場や機会の充実に向けた取組を進めています。昨年度は、義務教育学校の他、大きな集団が難しい子どもを対象とした「小中施設一体型特認校」、異年齢集団で学ぶ「イエナプラン教育校」を開校し、多様な学びの場を充実させていきます。

今年度、「リアル&デジタル『学びが面白い』の深化～自ら、ともに『鍛える』『支える』」ことを子どもたちも教職員も意識し、日々の授業を中心とした全教育活動に取り組んでいます。現在地にそれぞれ差があっても、市内どの学校でも、「子ども主体の学び」に向けて、試行錯誤・チャレンジを続けています。我々が頑張る・踏ん張るエネルギーのもと、子どもたちの命・未来です。「すべては子どもたちのために」全力を尽くします。

岡崎市・福山市の子どもたちとともに、すべての子どもたちが自分の力を最大限発揮し、学び続ける力によりよい世界・未来をつくっていくことを願っています。

(みよし まさあき)



困っている人がいるなら

岡崎市保健所保健衛生課 主査  
国際緊急援助隊 医療チーム登録

佐藤 千歳氏

二〇二三年二月六日に、トルコ南東部を震央とした、マグニチュード七・八の巨大な地震が発生しました。二〇〇〇万人を超える被災者が出るなど、甚大な被害が出ました。— 現地で、どのような活動をしていただくか教えてください —

私は、JICA（国際協力機構）の組織の一つである国際緊急援助隊として、現地の被災者を医療活動で支えるために派遣されました。氷点下の寒さの中、三十トンを超える荷物の搬入、テントの設営や食事の準備など、すべて自分たちで行いました。そして、テントを病院として、外来診療や手術、時には死亡判断も行いました。

私がいいた医療チームは、日本各地から集まってきたメンバーで構成さ

れています。被災国から派遣要請を受けた後、一刻も早く援助を行うため、四十八時間以内に派遣されます。私は職場や家族の理解を得て、すぐに出発することになりました。

JICAの活動は主に二種類あります。開発援助と緊急人道援助です。開発援助は橋をつくったり、護岸工事をしたりする活動です。緊急人道援助は今回のトルコ地震のように、災害が起きてから、人を派遣して活動する援助です。マスコミが大きく取り上げるのは、緊急人道援助です。しかし、私は災害を未然に防ぐことができる開発援助の方が重要だと思っています。

— 国際緊急援助隊として、最も大切にしている思いを教えてください —

「自分に支援できる能力があるのなら、行けばよいじゃないか。相手が喜んでくれるのなら、やればよいじゃないか」という思いです。

パキスタンでの洪水災害の支援に派遣された時に、六時間も歩いて私たちの診察を受けに来た親子がいました。受診後、「日本チームがいてくれて助かった。ありがとう」と言い、親子は六時間の道のりを帰って行きました。帰国して職場に戻ると、私の不在時に仕事を分担してくれた同僚にお礼とともに謝って回ります。あの親子のように「日本チームありがとう」と思ってもらえるのも、同僚の理解のおかげです。

— 今、学校現場は災害に対して、どう備えるべきですか —

— 学校が避難所になることがあるということをより強く意識して訓練を積み重ねることです。避難所指定されている学校では、災害が起ると、被災者は学校に集まります。私が行ったどの現場もそうですが、活動初期はとても混乱します。なので、子供たちは、混乱した中で避難をする訓練を積み重ねていくことがとても重要です。災害が発生して、心身ともに疲労困ぱいしている中では、訓練の経験が頼りになるからです。

— 今後の展望を教えてください —

今回のトルコ地震を振り返り、誰が災害医療チームに参加しても活動できるように準備や議論を進め、次世代に思いをつなげたいと思います。また、私はこれまで、学校で先生方になさきつかけをもらいました。そのおかげで今の私があると思っています。今、私は大学で講義をしています。今、私の話がきっかけで、動き出してくれる学生が一人でもいてくれるとよいと思います。

現在、六十歳を超えても国際緊急援助隊に参加している人もいます。これから先も、困っている人がいるなら、私は行こうと思っています。



氏名 さとう ちとし  
住所 岡崎市美合新町



自分との関わりで考える

道徳指導員 白川 真理

道徳は、教材で描かれる場面を自分との関わりとして捉えて考え、自分の生き方を模索する教科である。

A教諭は、相手の思いを大切にしながら行動できる六年生になってほしいと願い、教材「この胸の痛みを」で授業を行った。導入で、A教諭は、「友達を許せないと思ったことはありますか」と問いかけた。子供たちの七割近くが「はい」と答えた。この結果に、子供は「意外と多い」と、思わずつぶやいた。続けてA教諭は「それはどんな時」と問いかけ、子供たちに経験を想起させた。

道徳の授業では、これまでの経験とその時に感じたこと、考えたこととを照らし合わせて深めることが大切である。子供は、この導入により、教材の出来事と自分の経験を重ねて考えることができるようになった。教材範読後、A教諭は、「友達から

## 心からの笑顔

竜海中学校

教諭 加藤 秀太



「Aさんがいれば安心だね。」

級友からそう声をかけられるAさんは、生徒会役員や部活の部長を務め、誰からも頼られる存在である。

Aさんは、文化祭の企画委員として運営にも携わっていた。昼休みや授業後、毎日机に向かって企画を考えるAさんの姿からは、文化祭を最高のものにしたという思いが強く伝わってきた。

「文化祭の準備は進んでいるかな。」  
「大変ですが、何とかやれています。」  
いつも笑顔で応えるAさんに、私は「さすがだね」とだけ声をかけていた。このとき、Aさんの本当の気持ちに気づいていなかった。

本番が近づいたある日、私は「Aさんが考えている企画を楽しみにしているよ」と何気なく声をかけた。すると、Aさんは目に大粒の涙を浮かべた。

「この文化祭で、私は文化部部長を引退します。企画委員として文化祭の準備に時間をかけたのだけれど、部活動の準備にも手を抜きたくない。両立させようとすると、すべてが中途半端に感じられ、私は何もできない人間だったのかと考えることもあるのです。」

いつも頼りにされるAさんの笑顔に隠されていた思い。それに気づけなかった申し訳なさと、何とか助けになりたいという思いから、「いつも全部一人で抱え込み過ぎていたのかもしれないね。Aさんの周りには助けられる人がたくさんいるよ」と、私はAさんの目を見て、話をした。Aさんは、はっとした表情で顔を上げ、「そうですよね」とうれしそうに言って、企画委員の仲間のところへ走っていった。

この日から、仲間や担当の先生に相談をするAさんの姿が、少しずつ見られるようになった。私も「Aさんは、文化祭の企画と部活動の両方を抱えているから協力してあげてね」と、他の企画委員たちに伝えた。彼らは「もちろんです」と答えた。その様子は、わざわざ伝えられなくても分かっているかのようであった。

「明日の昼休みに文化祭の準備をするけれど、授業後は部活動に行きたい。準備を任せてもいいかな。」  
「いいよ。文化部の発表も楽しみにしているね。」

一人ですべての責任を背負うのではなく、仲間とともに喜びも苦労も分かち合うことの価値を見出すことができたAさんは「大変だけれど、すごく楽しい」と心からの笑顔で応えるようになった。

文化祭のフィナーレでは、仲間と涙を流しながら抱き合うAさんがいた。きつとその涙は、仲間と一緒に最高の文化祭をつくりあげることができた喜びの涙であったにちがいない。

卒業を迎えた三月、Aさんの卒業文集には、未来の自分に宛てた手紙が書かれていた。

「私は完璧主義だから、何でも一人でこなそうとするけれど、絶対に自分一人で抱え込んでダメ。私を助けてくれる、支えてくれる人は近くにいます。このことを忘れないで。」



由希を無視しようと言われた主人公はどんな気持ち」と問いかけた。「許せないことをした由希が悪いから無視する」と考えたB児は、「自分だったらどうする」とのA教諭の発問に「えっ」と声をあげ考え込む姿を見せた。迷いながらも出した結論は「無視しない」。その理由は「友達にも事情があったかもしれないから」であった。ただ、無視すると考えた人の意見も分かるとも言つ。A教諭は、更に「無視すると胸はすっきりするのかな」と問うた。B児は思い切り、首を横に振る。自分との関わりで考えているからこそ見られる反応である。自分事として話す意見が続く中、B児も「自分なら相手の気持ちを聞く。そして自分の気持ちも伝える」との考えに至った。

「自分だったら」との問いは、自分との関わりで考えることができる。しかし、唐突に問われると、子供は困惑する場面がある。A教諭のように、生活経験を想起させた上で考えることが大切である。

子供が自分の心の奥にある思いを引き出し、自分の生き方につなげて考えるためには、教師は、子供の思考の流れを予測しながら発問を考へることが大切である。



▲現在の敬信寮の玄関

五十年もの長きに渡り、生徒の生活と自立を支えてきた額田中学校敬信寮。多くの寮生に愛された敬信寮が、今年度末で閉寮を迎える。

昭和四十七年に豊富中、宮崎中、形埜中、下山中の四校が統合され、額田中学校が誕生した。その翌年に誕生したのが、額田中学校敬信寮である。大雨河、千万町、形埜、下山校区の生徒が入寮地域に指定され、開寮時には一九六名が入寮した。「家族と離れる寂しさはあったが、きれいな寮の部屋やホールで、みんな話をするのがとても楽しかった」と、当時の寮生は語る。開寮当時は、寮内に理容室や売店も設置されていた。

平成九年度から寄宿舎の大改修が行われ、現在の敬信寮となった。部屋が新しくなり、三人部屋から六人部屋となった。広いベッド、エアコンによる冷暖房完備、ホールへの自販機設置など、寮生にとってより過ごしやす環境となった。

最大二三〇名いた寮生も、今や五十六名。しかし、生活は昔と変わらない。勉強時間が決められており、集中して机に向かう。自由時間は卓球をしたりテレビを見たりと、各々楽しむ。食事の準備や片付け、洗濯、おやつなどの配付など、寮生役員が中心となり、自治的な活動が行われている。「寮のよいところの一つは、先輩・後輩がともに過ごすところだ」と、寮生は言う。生活の仕方について先輩から学ぶことはもちろん、仲間とともに過ごすことで心遣いも学ぶ。さらに、仲間だけでなく多くの人に支えられていることも知る。

「人を敬い、人を信じる」。その人となりや中学生同士で磨きあげる場所であった敬信寮。寮がなくなろうとも、敬信の心は、巣立った生徒から後輩たちへ受け継がれていくだろう。



▲自分たちで協力して行う洗濯



▲夕食後のおやつ配付



▲集中して行う勉強

開寮当時



▲寮生の部屋での団らん



▲ホールでの団らん



▲出張理容室の様子



▲寮生による委員会で運営する売店

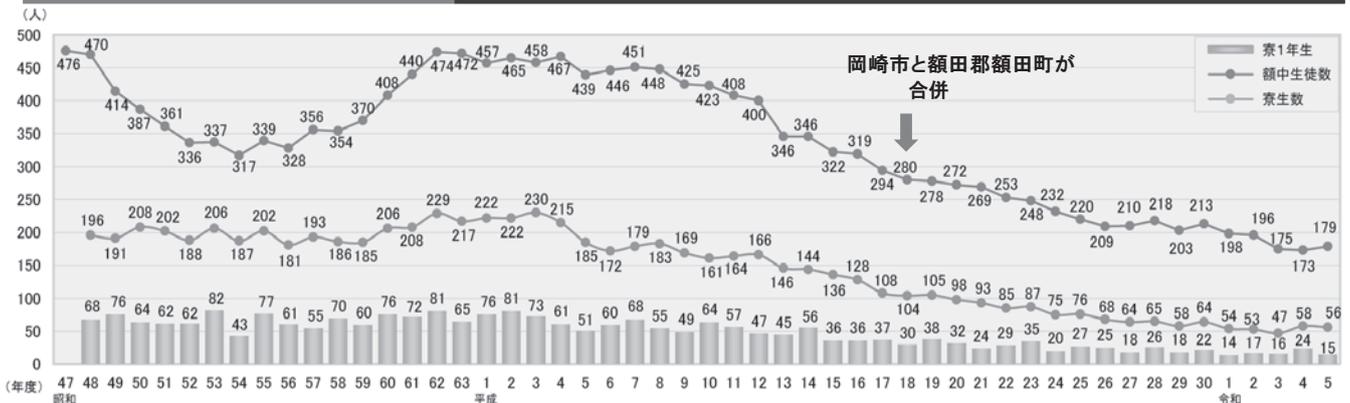
寮大改修



▲新しくなった寝室



▲1、2、3年生と一緒に暮らす部屋



▲昭和47年度から令和5年度までの額田中学校生徒数と寮生人数の推移（出典：額田中資料）

つながる

寮母さんは 第2のお母さん



▲寮生活を支えている寮母さんを囲む寮生たち



▲友達と楽しむ休み時間



▲異学年生徒が協力する食事の片付け



●プログラミンングフェスタ

七月二十五日、現職研修委員  
会学習情報部は岡崎竜城ライ  
オンズクラブの後援を受け、  
「おかげさきツズ プログラミ  
ング・フェスタ2023」を  
開催した。岡崎市総合学習セ  
ンターに九つの体験コーナー  
が設けられ、市内小中学生延  
べ六六四人が参加した。

ロボットを制御するプログ  
ラムを組むコーナーでは、参加  
した小中学生が、岡崎工科高等  
学校の生徒からプログラムを  
学び、ロボットを走らせた。

また本年度より、「プログラ  
ミンング・プレゼンコンテスト」  
を開催し、子供たちが自作した  
プログラムを披露した。一回  
目となるコンテストでは、「誕  
生日の友達を音楽で祝うハッ  
ピーボックス」を制作した、  
羽根小学校二年生の児童が最  
優秀賞を獲得した。

参加した子供からは「思った  
とおりにロボットが動くとう  
れしかった」などの感想が寄せ

られた。学校での学習を發展さ  
せ、岡崎の子供たちがプログラ  
ミンングに親しむ一日となった。

●部活動の地域移行

これまで半世紀を超えて教  
師が献身的に取り組んできた  
部活動が大きな変革期を迎え  
ている。国も県も、部活動の  
地域移行についてガイドライ  
ンを示しているが、岡崎市と  
しては、さらに具体的な策と  
して、地域ブロック部活動を  
核とした、岡崎モデル「3段  
階プラン」を進めていく。

岡崎の全ての子供が、ス  
ポーツ・文化芸術活動に主体  
的に取り組めるよう、現在あ  
る部活動を生かしながら地域  
移行していくことと、子供の  
健全育成を目指すことを目的  
とする。市内の中学校に現存  
する全ての種目を選択して参  
加できることが最大のメリッ  
トである。

この岡崎独自の取組により、  
子供が主体的にスポーツ・文  
化芸術活動に取り組み、健や  
かに育つことを期待したい。

●研究発表校

◆岡崎市立新香山中学校

九月十三日(水)

「ESDの6つの視点で働き  
かけ、持続可能な社会を創ら  
うとする生徒の育成」

総合的な学習の時間を中心  
にした自分事としての学びを  
実現するESDとGIGAス  
クール構想のGOOD MIX

新香山中学校では、学習課  
題を自分事として捉え、多面  
的な見方や根拠をもとに息の  
長い発言や記述ができる生徒、  
自己肯定感の高い生徒、主体  
的・対話的な深い学びで社会  
に働きかける生徒の育成を目  
指して研究を進めてきた。解  
決の手順として、①オーセン  
ティックな体験、②自分事と  
して発言・記述する「カタリ  
バ活動」、③学びの価値を高  
め次の学びにつなげる「振り  
返り活動」の学びの3ステッ  
プを大切にし、ICTを効果  
的に活用した授業を推進して  
いる。当日は、研究発表、全  
学級の授業公開、パネルディ  
スカッションを行う。

●表彰

◆第41回愛知県小学生バドミントン大会

○5年男子シングルス  
優勝 竜谷小 服部 恵大

◆第57回交通安全子ども自転車愛知県大会

○団体の部  
優勝(全国大会出場) 竜美丘小

○個人の部  
3位 竜美丘小 千葉ゆり菜

◆第69回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会

○男子走高跳  
3位 福岡中 安藤 壹真

○男子三〇〇m  
2位 矢作北中 稲垣 諒也

○女子走高跳  
優勝 矢作北中 夏目 純佳

○女子八〇〇m  
2位 新香山中 本田 結彩

○女子一五〇〇m  
2位 新香山中 本田 結彩

◆第77回愛知県中学校総合体育大会

○水泳競技  
・男子四×〇〇mメドレーリレー  
2位 川原井 翔・岡田 爽良

石川 煌起・葛西 麒心  
3位(全国大会出場) 甲山中  
加藤 絆・荻野 暖万

水野 直旺・鈴木 咲哉  
・男子一〇〇m背泳ぎ  
4位(全国大会出場)

甲山中 加藤 絆

・男子一〇〇mバタフライ  
2位 竜南中 船越 健

・男子二〇〇mバタフライ  
2位 六美北中 服部 羽恭

3位 竜南中 船越 健

○陸上競技

・男子四種競技  
優勝 美川中 和知 志侑

2位 矢作北中 宮川凜太郎  
3位 矢作北中 東 祥太

・2年男子一〇〇m  
3位 東海中 小島 昊大

・女子走高跳  
優勝 矢作北中 夏目 純佳

○バスケットボール  
・女子 3位 竜海中

○バレーボール  
・男子 2位 矢作中

・女子 3位 美川中

○柔道  
・男子66kg級  
3位 六美北中 田中 善

○相撲  
・男子個人の部  
優勝 常磐中 鈴木 龍

○剣道  
・男子団体の部  
3位 矢作中

・男子個人の部  
優勝 矢作中 中島 楨

◆第30回愛知県中学校カヌー大会

○女子総合  
優勝 新香山中

○男女総合  
2位 新香山中

○カナディアン男子1人乗り  
優勝 新香山中 水野 駈

○カナディアン男子2人乗り  
優勝 新香山中

水野 駈・平松 陽向

○カヤック男子1人乗り  
2位 新香山中 林 隼汰

○カヤック男子2人乗り  
2位 新香山中 林 隼汰

林 隼汰・近藤 信瑠

○カヤック男子4人乗り  
2位 新香山中  
林 隼汰・近藤 信瑠  
進藤 来空・森 陽大

○カヤック女子1人乗り  
3位 新香山中 釘宮 輝

○カヤック女子2人乗り  
3位 新香山中  
山崎 栞愛・浅枝 三結

○カヤック女子4人乗り  
2位 新香山中  
釘宮 輝・山崎 栞愛  
浅枝 三結・小山 果倫

◆令和5年度全国中学生カヌースプリント選手権大会  
○カナディアン男子1人乗り  
2位 新香山中 水野 駆

○カナディアン男子2人乗り  
4位 新香山中  
水野 駆・平松 陽向

〈中学2年生特別レース〉  
○カナディアン男子1人乗り  
優勝 新香山中 八木 琉成  
6位 新香山中 平松 陽向

◆第40回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会  
○テレビ番組部門  
優良 北中メディア部

【訂正】  
八月号のお知らせページ「第67回岡崎市中学校総合体育大会」水泳競技女子の校名に誤りがありましたので訂正いたします。

4×100mメドレーリレー

高野・竹下 土屋・高木	竜海	5'12"61
----------------	----	---------

第76回 岡崎市中学校市長杯総合体育大会 兼 西三河中学校選手権大会岡崎・幸田支所予選会

団体結果

種目	性	優勝	第2位	第3位
陸上競技	男子	竜海北	六美北	矢作北
	女子	矢作北	新香山	六美北
バスケットボール	男子	東海	甲山	六美北
	女子	竜海	六美北	甲山
バレーボール	男子	矢作北	矢作北	新香山
	女子	新香山	美川	矢作北
ソフトテニス	男子	矢作北	矢作北	幸田北
	女子	矢作北	幸田北	常磐
卓球	男子	幸田南	竜海	幸田北
	女子	幸田南	竜海	新香山
剣道	男子	矢作北	額田	幸田北
	女子	翔南	矢作北	竜海
ハンドボール	男子	竜南	葵	美川
軟式野球	男(女)	竜南	新香山	城北
ソフトボール	女子	竜海	矢作北	幸田北
柔道	男子	矢作北	矢作北	竜海
	女子	矢作北	甲山	
サッカー	男(女)	新香山	甲山	竜南
	男子	幸田北A	幸田北B	幸田北C
弓道	男子	幸田北A	幸田A	幸田北D
	女子	幸田北A	幸田A	幸田北D
水泳	男子	矢作北	矢作北	六美北
	女子	竜海	矢作北	六美北

個人競技 (1位のみ)

種目	男子			女子		
	氏名	校名	校名	氏名	校名	校名
弓道	浅井 志道	幸田北	幸田北	花井 美月	幸田北	幸田北
ソフトテニス	有我・森	東海	東海	市川・柴田	幸田北	幸田北
卓球	栢山 瑠可	東海	東海	吉田 詠	甲山	甲山
剣道	徳倉 正起	翔南	翔南	中村 莉沙	六美北	六美北

柔道

階級・部門	男子			女子		
	氏名	校名	校名	氏名	校名	校名
50kg級	古居 優汰	矢作北	矢作北	神谷 茜	矢作北	矢作北
55kg級	岩月 颯真	矢作北	矢作北	中根菜乙渚	甲山	甲山
60kg級	矢藤静一郎	竜海	竜海	城下 美海	矢作北	矢作北
66kg級	田中 善	六美北	六美北	白井 杏奈	矢作北	矢作北
73kg級	石川 侑希	矢作北	矢作北	森山 咲笑	矢作北	矢作北
81kg級	小野 孝太	竜海	竜海	小林 ゆめ	矢作北	矢作北
90kg級	鄒 秉昀	附属	附属			
90kg超級	馬 健	矢作北	矢作北			

陸上競技

新…大会新記録

性	種目	氏名	校名	記録
男	100m	川田 明幸	附属	11"54
	200m	佐久間皓輝	矢作北	23"68
	400m	小島 昊大	東海	53"14
	800m	竹山 迅	城北	2'07"60
	1500m	本間 翔希	六美北	4'20"58
	3000m	秋田 順哉	北	9'25"88
	110mH	権田 颯志	翔南	新 14"47
	4×100mR	齊場・深川 佐久間・安井	矢作北	45"12
	走高跳	安藤 壱真	福岡	1m70
	棒高跳	小西 徹	竜海	2m20
女	走幅跳	小野田壮真	美川	5m62
	砲丸投	田澤桜二郎	福岡	10m98
	100m	大見 由奈	矢作北	13"48
	200m	松浦 若奈	幸田	26"92
	800m	田畑 衣織	新香山	2'25"47
	1500m	本田 結彩	新香山	4'49"22
	100mH	黒柳 紗依	甲山	15"37
	4×100mR	福田・大見 夏目・田島	矢作北	51"49
	走高跳	夏目 純佳	矢作北	1m55
	走幅跳	石橋 乙夏	城北	4m44
砲丸投	浅井 暖乃	甲山	9m73	

水泳競技

新…大会新記録

種目	男子			女子		
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
50m自由形	栗田連太郎	城北	新 25"59	益田陽花梨	矢作北	新 28"61
100m自由形	杉本 直樹	翔南	56"47	齊藤 美来	矢作北	1'05"55
200m自由形	大竹 暁生	北	新 2'06"02	秋田 琉莉	新香山	新 2'18"08
400m自由形	家永 瑛吉	矢作北	4'35"71	片山 灯夏	北	新 4'38"25
100m平泳ぎ	岡田 爽良	矢作北	新 1'08"02	岸原くるみ	城北	新 1'15"91
200m平泳ぎ	杉山 昊徽	竜海	2'30"83	加藤 美月	甲山	2'45"98
100mバタフライ	船越 健	竜南	新 58"89	柴田 奈那	甲山	新 1'07"90
200mバタフライ	柳楽浩太郎	矢作北	新 2'13"10	岩崎清緒良	葵	新 2'25"98
100m背泳ぎ	加藤 絆	甲山	新 59"31	高野 紫帆	竜海	1'14"72
200m背泳ぎ	鈴木 咲哉	甲山	2'20"99	鈴木 里桜	南	新 2'24"19
200m個人メドレー	中山 新太	東海	2'28"11	柴田 歩波	翔南	新 2'32"17
4×100mR	岡田・葛西 石川・川原井	矢作北	4'00"91	高野・土屋 高木・高木	竜海	4'28"92
4×100mメドレーR	川原井・岡田 石川・葛西	矢作北	4'20"93	高野・竹下 宇賀神・高木	竜海	4'56"53

〈上記以外で大会新記録を出した者〉

男子200mバタフライ	服部 羽恭	六美北	新 2'13"84
女子100mバタフライ	宇賀神まのか	竜海	新 1'10"93



・カ  
ツ  
ト

六ツ美中部小 實松理沙

# 労作教育 (昭和8年)

写真提供：福岡小学校



子供たちが机をつなげて一緒に学習している。教室背面には、様々な作品が陳列される。労作教育の一環で行われる分団学習(小集団での学習)の様子である。

福岡小学校では、昭和六年から十年まで、労作教育の研究発表会を五回開催した。労作教育とは、自主的で集団的な作業を通して全人的な発達を目指す当時の新教育である。全国から毎日のように参加者が来校し、研究授業の反省を職員で夜遅くまで行つたと記録にある。

労作教育では、分団学習とともに協働、労作も大切にされた。これらの理念は、現在市内各校で行われている「チーム学習」にも、共通点を見出すことができる。

トンボが飛び交う中庭を、子供たちが駆けてゆく。通学路では、コスモスが風に吹かれて白やピンクの花を揺らしている。厳しい残暑が続くが、ふと立ち止まってみると、かすかに秋の気配が感じられるようになった。夏を終え、たくましく戻ってきた子供たちと共に、今年はどうな秋にしていこうか。

保護者に代わり、約二十年に渡って敬信寮生を支えてきた寮母さんがいる。写真を撮らせてほしいと伝えると、「みんなで撮ろう」と。たちまち寮生が寮母さんの周りを囲み、最高の笑顔を見せた。敬信寮がなくなる。人を敬い、信じることの価値を学べる敬信寮が岡崎市にあったことを、多くの人の心に留めておいてほしい。

## どホ

## 長目ツ



▲地域防災訓練(大門小)

つばに手をかけ、深めに帽子を被る佐藤氏。「たいたことはやっていません」と何度も微笑む。「JAPAN」と刺繍された帽子の下からのぞく表情は常に柔和で、温かさが感じられた。きつと、切迫した海外の被災地でも、その人柄を生かし、「支える」「支えられる」以上の心の繋がりを築いてきたに違いない。



\* 静かな人の戦略書 ジル・チャン  
ダイヤモンド社 ¥1,500

心に残った一文  
好かれるより『信頼関係』が大事

多様な子供たちが学級にいる中で、関わりが苦手一人で黙々と活動を進める子供たちをどのように支えていくかが、現在の課題としてクローズアップされている。

本書は、積極的にコミュニケーションをとる外交的な人ではなく、内向的な人が、何をどのように考えているのか、また具体的にどのように人間関係を構築するのかを独特な視点で記述している。内向的な人の思考が分かる本書から、チーム学習のさらなる磨き上げに活用できる考え方を多く取り入れたい。子供たちが授業で輝く姿を求めていく一助となる。

- \* 凡事徹底 致知出版社 鍵山秀三郎 ¥1,000
  - \* 涙の数だけ大きくなれる フォレスト出版 木下 晴弘 ¥1,300
  - \* 教えずに育てる ダイヤモンド社 田中 宏幸 ¥1,500
- 根石小 山元 嘉与